

県における施工パッケージ型積算方式の適用について

[目 次]

1. 施工パッケージ型積算方式とは p 2
2. 施工パッケージ型積算方式の適用時期と適用工種 p 3
3. 県土木部「積算基準及び標準歩掛（土木編）」の改定 p13
4. 「施工パッケージ」代価表等 p14
5. 「施工パッケージ」積算単価の算出方法 p15
6. 「施工パッケージ」標準単価等の掲載場所 p18

令和5年8月

茨城県土木部検査指導課

1. 施工パッケージ型積算方式とは

○国土交通省が平成 24 年 10 月 1 日から試行運用を始めた積算方式
 ※現在の積算方式は「積上型積算方式」

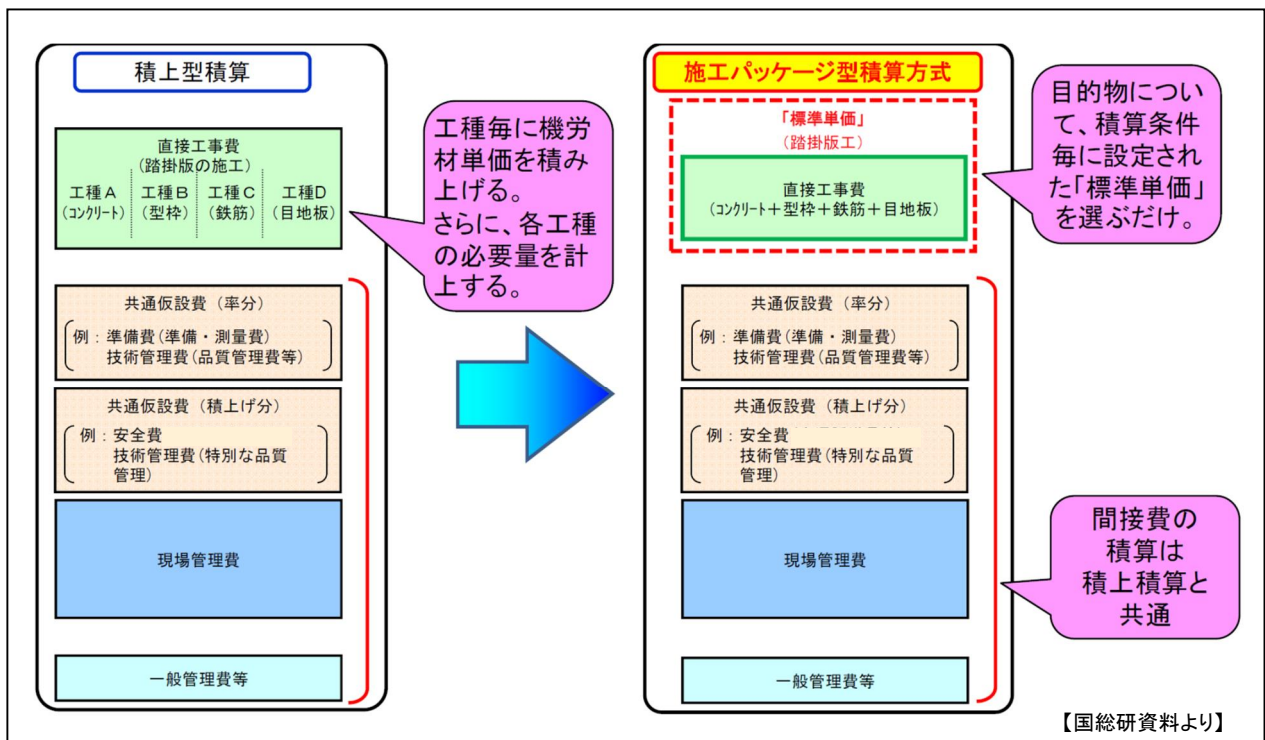
○施工パッケージ型積算方式の概要 【図表 1】

- 機械経費、労務費、材料費をパッケージ化して直接工事費を算出
 (市場単価のイメージに近いが、地域に合わせた補正計算が必要)
- 間接費は「積上型積算方式」と同じ

○施工パッケージ型積算方式の適用レベル【図表 2】

- 施工パッケージは、積算体系ツリー「レベル4」の一部に設定
 ※レベル1 (工事区分：道路改良) などの大項目での設定ではない

【図表 1】 施工パッケージ型積算方式の概要



【図表 2】 施工パッケージ型積算方式の適用レベル

レベル 1 工事区分	レベル 2 工 種	レベル 3 種 別	レベル 4 細 別
道路改良	道路土工	掘削工	掘削 - 土砂等運搬 - 軟弱土等運搬 - 整地 - 転石破碎 - 押土 (ルーズ) - 積込 (ルーズ) - 人力積込
		路体盛土工	路体 (築堤) 盛土 - 土砂等運搬 - 整地 - 押土 (ルーズ) - 積込 (ルーズ) - 人力積込 - 土材料

施工パッケージは、積算体系ツリー「レベル4」の一部に設定

2. 施工パッケージ型積算方式の適用時期と適用工種 (R5.8.1 以降適用分)

○令和5年8月1日以降に起工する工事から適用

◆県土木部「積算基準及び標準歩掛（土木編）」の改定

⇒「施工パッケージ」導入工種は、県土木部積算基準から積上げ歩掛を削除

◆施工パッケージ用代価表の追加等

○ 9工事区分の主要工種に388施工パッケージを適用

※国土交通省「R5.4 適用分」を採用

施工パッケージ適用工種一覧(R5.8.1 適用分)

No.	施工パッケージ名称	施工パッケージ型積算基準
001	現場発生品及び支給品運搬	現場発生品及び支給品運搬
002	現場発生品及び支給品積込・荷卸	現場発生品及び支給品運搬
003	押土（ルーズ）	土工
004	積込（ルーズ）	土工
005	床掘り	作業土工
006	掘削補助機械搬入搬出	作業土工
007	基面整正	作業土工
008	掘削	土工
009	土砂等運搬	土工
010	掘削（ICT）	土工
011	床掘り（ICT）	作業土工
012	転石破碎	土工
013	埋戻し	作業土工
014	タンパ締固め	作業土工
015	路体（築堤）盛土	土工
016	路床盛土	土工
017	土材料	土工
018	残土等処分	土工
019	路体（築堤）盛土（ICT）	土工
020	路床盛土（ICT）	土工
021	整地	土工
022	舗装版破碎積込（小規模土工）	作業土工
023	人力積込	土工
024	人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	人力運搬工
025	人力運搬（運搬～取卸し）	人力運搬工
026	安定処理	安定処理工
027	法面整形	法面工
028	法面整形（ICT）	法面工
029	市松芝	法面工
030	吹付法面取壊し	法面工
031	プレキャストコンクリート板	法面工

032	プレキャストコンクリート板（材料費）	法面工
033	ジョイント処理	法面工
034	ジョイント金物（材料費）	法面工
035	人工張芝	法面工
036	基礎碎石	基礎・裏込碎石工
037	裏込碎石	基礎・裏込碎石工
038	石積（練石）（複合）	石積（張）工
039	石張（複合）	石積（張）工
040	石積（張）	石積（張）工
041	石積（張）（材料費）	石積（張）工
042	胴込・裏込コンクリート	石積（張）工
043	裏込材（クラッシュラン）	石積（張）工
044	平石張	石積（張）工
045	平石（材料費）	石積（張）工
046	プレキャスト擁壁設置	プレキャスト擁壁工
047	補強土壁壁面材組立・設置	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
048	補強土壁壁面材（材料費）	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
049	補強材取付	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
050	補強材（材料費）	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
051	まき出し・敷均し，締固め	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
052	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	補強盛土工
053	ジオテキスタイル壁面材（材料費）	補強盛土工
054	ジオテキスタイル（材料費）	補強盛土工
055	ジオテキスタイル敷設	補強盛土工
056	まき出し・敷均し，締固め	補強盛土工
057	補強材取付	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
058	補強材（材料費）	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
059	碎石投入	補強土壁工（帯鋼・アンカー・ジオテキスタイル補強土壁）
060	プレキャストL形側溝（製品長 0.6m/個）	排水構造物工
061	P C管	排水構造物工
062	P C管（材料費）	排水構造物工
063	暗渠排水管	排水構造物工
064	フィルター材	排水構造物工
065	管（函）渠型側溝	排水構造物工
066	プレキャスト集水柵	排水構造物工

067	プレキャスト集水桝（材料費）	排水構造物工
068	コルゲートフリューム	排水構造物工
069	プレキャストマンホール	排水構造物工
070	鉄筋コンクリート台付管	排水構造物工
071	ヒューム管（B形管）	排水構造物工
072	ボックスカルバート	排水構造物工
073	コルゲートパイプ	排水構造物工
074	現場打ち水路（本体）	排水構造物工
075	現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	排水構造物工
076	サンドマット	軟弱地盤処理工
077	粉体噴射攪拌	軟弱地盤処理工
078	粉体噴射攪拌（移設）	軟弱地盤処理工
079	粉体噴射攪拌（軸間変更）	軟弱地盤処理工
080	削孔（アンカー）	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
081	アンカー鋼材加工・組立・挿入	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
082	グラウト注入（アンカー）	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
083	ボーリングマシン移設（アンカー）	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
084	足場（アンカー）	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
085	アンカー（材料費1）	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
086	アンカー（材料費2）	アンカー工（ロータリーパーカッション式）
087	コンクリートはつり	構造物とりこわし工
088	積込（コンクリート殻）	構造物とりこわし工
089	コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	コンクリート削孔工
090	コンクリート削孔（さく岩機）	コンクリート削孔工
091	コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	コンクリート削孔工
092	目地板	目地・止水板設置工
093	吸出し防止材設置	吸出し防止材設置工
094	止水板	目地・止水板設置工
095	シール材	目地・止水板設置工
096	シール材（材料費）	目地・止水板設置工
097	高欄撤去	旧橋撤去工
098	アスファルト舗装版破碎・積込み	旧橋撤去工
099	床版1次破碎・撤去	旧橋撤去工
100	桁1次切断・撤去	旧橋撤去工
101	床版1次及び2次破碎・撤去	旧橋撤去工
102	桁1次及び2次切断・撤去	旧橋撤去工

103	アスファルト塊運搬	旧橋撤去工
104	床版運搬	旧橋撤去工
105	じゃかご	かご工
106	止杭打込	かご工
107	ふとんかご	かご工
108	発泡スチロール設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
109	発泡スチロール (材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
110	緊結金具 (材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
111	コンクリート床版	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
112	支柱結合アンカー (材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
113	支柱設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
114	支柱 (材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
115	壁面材設置	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
116	壁面材 (材料費)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
117	裏込砕石 (軽量盛土)	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
118	現場取卸 (鋼桁)	現場取卸費
119	現場取卸 (PC 桁)	現場取卸費
120	現場取卸 (鋼管杭)	現場取卸費
121	函渠	函渠工
122	コンクリート (場所打函渠)	函渠工
123	間知ブロック張	コンクリートブロック積 (張) 工
124	平ブロック張	コンクリートブロック積 (張) 工
125	連節ブロック張	コンクリートブロック積 (張) 工
126	緑化ブロック積	コンクリートブロック積 (張) 工
127	緑化ブロック (材料費)	コンクリートブロック積 (張) 工
128	天端ブロック (材料費)	コンクリートブロック積 (張) 工
129	間知ブロック積	コンクリートブロック積 (張) 工
130	胴込・裏込コンクリート	コンクリートブロック積 (張) 工
131	胴込・裏込材 (砕石)	コンクリートブロック積 (張) 工
132	遮水シート張	コンクリートブロック積 (張) 工
133	吸出し防止材 (全面) 設置	コンクリートブロック積 (張) 工
134	植樹	コンクリートブロック積 (張) 工
135	現場打基礎コンクリート	コンクリートブロック積 (張) 工
136	現場打天端コンクリート	コンクリートブロック積 (張) 工
137	現場打小口止コンクリート	コンクリートブロック積 (張) 工
138	現場打横帯 (隔壁) コンクリート	コンクリートブロック積 (張) 工
139	プレキャスト基礎ブロック	コンクリートブロック積 (張) 工
140	プレキャスト基礎ブロック (材料費)	コンクリートブロック積 (張) 工
141	大型ブロック積	コンクリートブロック積 (張) 工
142	プレキャスト小口止ブロック	コンクリートブロック積 (張) 工
143	プレキャスト小口止ブロック (材料費)	コンクリートブロック積 (張) 工
144	プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック	コンクリートブロック積 (張) 工
145	プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック (材料費)	コンクリートブロック積 (張) 工

146	プレキャスト巻止ブロック	コンクリートブロック積（張）工
147	プレキャスト巻止ブロック（材料費）	コンクリートブロック積（張）工
148	小型擁壁	場所打擁壁工
149	重力式擁壁	場所打擁壁工
150	もたれ式擁壁	場所打擁壁工
151	逆T型擁壁	場所打擁壁工
152	L型擁壁	場所打擁壁工
153	化粧型枠	型枠工
154	化粧型枠（材料費）	型枠工
155	ペーラインコンクリート（材料費）	場所打擁壁工
156	コンクリート（場所打擁壁）	場所打擁壁工
157	殻運搬	殻運搬
158	コンクリート打設（深礎工）	深礎工
159	コンクリート	コンクリート工
160	モルタル練	コンクリート工
161	型枠	型枠工
162	撤去しない埋設型枠（材料費）	型枠工
163	型枠（鉄筋構造）〔省力化構造〕	型枠工
164	消波根固めブロック製作	消波根固めブロック工
165	消波根固めブロック運搬	消波根固めブロック工
166	消波根固めブロック据付け	消波根固めブロック工
167	消波根固めブロック横取り	消波根固めブロック工
168	消波根固めブロック積込み	消波根固めブロック工
169	消波根固めブロック荷卸	消波根固めブロック工
170	根固めブロック撤去	消波根固めブロック工
171	捨石	捨石工
172	捨石（材料費）	捨石工
173	表面均し	捨石工
174	除草	堤防除草工
175	集草	堤防除草工
176	積込・荷卸	堤防除草工
177	運搬（堤防除草）	堤防除草工
178	除草，集草（人力），梱包	堤防除草工
179	除草，集草（機械），梱包	堤防除草工
180	梱包	堤防除草工
181	施肥	堤防芝養生工
182	抜根	堤防芝養生工
183	伐木・伐竹（伐木除根）	伐木除根工
184	除根（伐木除根）	伐木除根工
185	整地（伐木除根）	伐木除根工
186	集積（人力施工）（伐木除根）	伐木除根工
187	集積積込み（機械施工）（伐木除根）	伐木除根工
188	積込み（人力施工）（伐木除根）	伐木除根工

189	運搬（伐木除根）	伐木除根工
190	伐木・伐竹（複合）	伐木除根工
191	散在塵芥収集	塵芥処理工
192	堆積塵芥収集（機械処理）	塵芥処理工
193	堆積塵芥収集（人力処理）	塵芥処理工
194	注入	ボーリンググラウト工
195	削孔	ボーリンググラウト工
196	注入設備据付・解体	ボーリンググラウト工
197	河床等掘削	機械土工（河床等掘削）
198	軟弱土等運搬	機械土工（河床等掘削）
199	河床等掘削（ICT）	機械土工（河床等掘削）
200	軟弱土等運搬（ICT）	機械土工（河床等掘削）
201	巨石張（練）	多自然護岸工
202	巨石張（空）	多自然護岸工
203	巨石積（練）	多自然護岸工
204	巨石採取	多自然護岸工
205	巨石（材料費）	多自然護岸工
206	木杭打	多自然護岸工
207	プレキャスト基礎	護岸基礎ブロック工
208	プレキャスト基礎（材料費）	護岸基礎ブロック工
209	中詰コンクリート（材料費）	護岸基礎ブロック工
210	中詰コンクリート打設	護岸基礎ブロック工
211	かごマット設置（スロープ型）	かごマット工
212	袋詰玉石	袋詰玉石工
213	グラウトホール	グラウトホール工
214	グラウト管（材料費）	グラウトホール工
215	笠コンクリートブロック	笠コンクリートブロック据付工
216	笠コンクリートブロック（材料費）	笠コンクリートブロック据付工
217	ボーリング	地すべり防止工
218	保孔管	地すべり防止工
219	ボーリング仮設機材	地すべり防止工
220	足場（地表）	地すべり防止工
221	不陸整正	路盤工
222	下層路盤（車道・路肩部）	路盤工
223	下層路盤（歩道部）	路盤工
224	上層路盤（車道・路肩部）	路盤工
225	上層路盤（歩道部）	路盤工
226	不陸整正（ICT）	路盤工
227	下層路盤（車道・路肩部）（ICT）	路盤工
228	上層路盤（車道・路肩部）（ICT）	路盤工
229	基層（車道・路肩部）	アスファルト舗装工
230	基層（歩道部）	アスファルト舗装工
231	中間層（車道・路肩部）	アスファルト舗装工

232	中間層（歩道部）	アスファルト舗装工
233	表層（車道・路肩部）	アスファルト舗装工
234	表層（歩道部）	アスファルト舗装工
235	アスカーブ	アスファルト舗装工
236	セメントミルク浸透	アスファルト舗装工
237	排水性舗装・表層（車道・路肩部）	排水性舗装工
238	フィルター層	排水性舗装工
239	透水性アスファルト舗装	排水性舗装工
240	踏掛版	踏掛版
241	基礎ブロック，鋼管基礎	防護柵設置工
242	支柱（立入防止柵）	防護柵設置工
243	支柱（立入防止柵）（材料費）	防護柵設置工
244	金網・支柱（立入防止柵）	防護柵設置工
245	金網・支柱（立入防止柵）（材料費）	防護柵設置工
246	門扉	防護柵設置工
247	門扉（材料費）	防護柵設置工
248	箱抜き	防護柵設置工
249	車止めポスト設置	防護柵設置工
250	落下物等防止柵	防護柵設置工
251	落下物等防止柵（材料費）	防護柵設置工
252	支柱（材料費）	しゃ音壁設置工
253	支柱アンカー	しゃ音壁設置工
254	支柱アンカー（材料費）	しゃ音壁設置工
255	支柱建込	しゃ音壁設置工
256	しゃ音板・透光板取付	しゃ音壁設置工
257	しゃ音板・透光板（材料費）	しゃ音壁設置工
258	笠木取付	しゃ音壁設置工
259	笠木（材料費）	しゃ音壁設置工
260	水切板取付	しゃ音壁設置工
261	水切板（材料費）	しゃ音壁設置工
262	外装板取付	しゃ音壁設置工
263	外装板（材料費）	しゃ音壁設置工
264	土留板取付	しゃ音壁設置工
265	土留板（材料費）	しゃ音壁設置工
266	落下防止索（材料費）	しゃ音壁設置工
267	下段パネル（材料費）	しゃ音壁設置工
268	歩車道境界ブロック	路側工
269	地先境界ブロック	路側工
270	特殊ブロック舗装	特殊ブロック設置工
271	歩車道境界ブロック撤去	路側工
272	地先境界ブロック撤去	路側工
273	組立歩道組立据付	組立歩道工
274	組立歩道（材料費）	組立歩道工

275	排水桝	橋梁付属施設設置工
276	排水桝A (材料費)	橋梁付属施設設置工
277	橋名板等取付	橋梁付属施設設置工
278	橋梁用高欄	橋梁付属施設設置工
279	橋梁用高欄一体式 (材料費)	橋梁付属施設設置工
280	距離標	道路付属物設置工
281	距離標 (材料費)	道路付属物設置工
282	路面切削	路面切削工
283	殻運搬 (路面切削)	路面切削工
284	舗装版破碎	舗装版破碎工
285	舗装版切断	舗装版切断工
286	クラック補修	舗装版クラック補修工
287	注入材 (材料費)	舗装版クラック補修工
288	クラック防止シート張	舗装版クラック補修工
289	クラック防止シート (材料費)	舗装版クラック補修工
290	素地調整	道路付属構造物塗替工
291	付属構造物塗替	道路付属構造物塗替工
292	張紙防止塗装	張紙防止塗装工
293	張紙防止塗装 (材料費)	張紙防止塗装工
294	鋼板 (材料費)	橋梁補強工
295	鋼板巻立て	橋梁補強工
296	シール材 (材料費)	橋梁補強工
297	注入材 (材料費)	橋梁補強工
298	現場溶接	橋梁補強工
299	フーチングアンカー削孔・定着	橋梁補強工
300	アンカー材 (材料費)	橋梁補強工
301	アンカー注入材 (材料費)	橋梁補強工
302	スタッドジベル (材料費)	橋梁補強工
303	鋼板取付	橋梁補強工
304	シール材 (材料費)	橋梁補強工
305	注入材 (材料費)	橋梁補強工
306	とりこわし	橋梁補修工
307	鉄筋	橋梁補修工
308	コンクリート	橋梁補修工
309	足場・防護	橋梁補修工
310	支承取替 (鋼橋)	橋梁補修工
311	支承 (材料費)	橋梁補修工
312	桁付ブラケット (材料費)	橋梁補修工
313	支承取替 (P C 橋)	橋梁補修工
314	足場	橋梁補修工
315	杓座コンクリートはつり	橋梁補修工
316	下部工ブラケット取付	橋梁補修工
317	下部工ブラケット (材料費)	橋梁補修工

318	現場孔明（鋼構造物）	落橋防止装置工
319	現場溶接鋼桁補強	橋梁補修工
320	除草	道路除草工
321	集草	道路除草工
322	積込運搬	道路除草工
323	機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	道路除草工
324	機械除草（ハンドガイド式）・集草	道路除草工
325	機械除草（肩掛式）・集草	道路除草工
326	機械除草（ハンドガイド式）・集草	道路除草工
327	路面清掃（路肩部・人力）	道路清掃工
328	路面清掃（歩道等・人力）	道路清掃工
329	側溝清掃（人力清掃工）	排水構造物清掃工
330	柵清掃（人力清掃工）	排水構造物清掃工
331	面導水	トンネル漏水対策工
332	面導水（材料費）	トンネル漏水対策工
333	線導水	トンネル漏水対策工
334	線導水（材料費）	トンネル漏水対策工
335	チップング（厚2cm以下）	沓座拡幅工
336	アンカー筋挿入	沓座拡幅工
337	アンカー筋（材料費）	沓座拡幅工
338	注入材（材料費）	沓座拡幅工
339	鉄筋（沓座拡幅工）	沓座拡幅工
340	型枠（沓座拡幅工）	沓座拡幅工
341	コンクリート（沓座拡幅工）	沓座拡幅工
342	コンクリート削孔	橋梁補強工
343	コンクリート巻立て	橋梁補強工
344	足場（適用範囲外コンクリート巻立て工）	橋梁補強工
345	下地処理	橋梁補強工
346	型枠（適用範囲外コンクリート巻立て工）	橋梁補強工
347	コンクリート	橋梁補強工
348	コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン）	落橋防止装置工
349	コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	落橋防止装置工
350	コンクリート削孔	落橋防止装置工
351	アンカー	落橋防止装置工
352	アンカー材（材料費）	落橋防止装置工
353	注入材（材料費）	落橋防止装置工
354	充填補修	落橋防止装置工
355	補修材（材料費）	落橋防止装置工
356	床掘り	電線共同溝工（C・C・BOX）
357	埋戻し・締固め	電線共同溝工（C・C・BOX）
358	管路材設置	電線共同溝工（C・C・BOX）
359	プレキャストボックスブロック設置	電線共同溝工（C・C・BOX）

360	蓋設置	電線共同溝工 (C・C・BOX)
361	蓋 (材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
362	受金具 (材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
363	軽量鋼矢板設置・撤去	電線共同溝工 (C・C・BOX)
364	覆工板設置・撤去	電線共同溝工 (C・C・BOX)
365	舗装版破碎積込	電線共同溝工 (C・C・BOX)
366	運搬 (電線共同溝)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
367	支持金具 (材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
368	管路受台 (スペーサ) (材料費)	電線共同溝工 (C・C・BOX)
369	床掘り	情報ボックス工
370	埋戻し	情報ボックス工
371	中埋材 (材料費)	情報ボックス工
372	埋設部管路材設置	情報ボックス工
373	露出部管路材設置	情報ボックス工
374	スリーブ (材料費)	情報ボックス工
375	伸縮継手 (材料費)	情報ボックス工
376	ハンドホール	情報ボックス工
377	ハンドホール蓋 (材料費)	情報ボックス工
378	ハンドホール固定板 (材料費)	情報ボックス工
379	支持金具 (材料費)	情報ボックス工
380	舗装版破碎	情報ボックス工
381	埋設表示シート (材料費)	情報ボックス工
382	基礎材	情報ボックス工
383	型枠 (鋼橋床版)	鋼橋床版工
384	養生 (鋼橋床版)	鋼橋床版工
385	養生マット (材料費)	鋼橋床版工
386	コンクリートアンカーボルト設置	橋梁排水管設置工
387	排水管設置	橋梁排水管設置工
388	排水管 (材料費)	橋梁排水管設置工

3. 県土木部「積算基準及び標準歩掛（土木編）」の改定

○国土交通省「令和5年度 土木工事標準積算基準書」に準拠して改定

◆「施工パッケージ」導入工種は、県土木部積算基準から積上げ歩掛を削除

[参考] 施工パッケージ型積算基準は、国交省HPで公表されている。

国土交通省技術調査課 HP <https://www.mlit.go.jp/tec/koujisekisan.html>

(1) 「施工パッケージ積算基準」記載例

【国土交通省技術調査課HPより】
(資料名: 施工パッケージ型積算基準)

3-1 基礎砕石

(1) 条件区分は次表を標準とする。

表3.1 基礎砕石 積算条件区分一覧

(積算単位: m²)

砕石の厚さ	砕石の種類
2.5cm 以上 7.5cm 以下	(表3.2)
7.5cm 超 12.5cm 以下	
12.5cm 超 17.5cm 以下	
17.5cm 超 20.0cm 以下	
20.0cm 超 22.5cm 以下	
22.5cm 超 27.5cm 以下	
27.5cm 超 30.0cm 以下	

表3.2 砕石の種類

積算条件	区分
砕石の種類	クラッシュラン 40~0
	クラッシュラン 30~0
	クラッシュラン 20~0
	高炉スラグ CS~40
	高炉スラグ MS-25
	高炉スラグ HMS-25
	クラッシュラン 80~0
	再生クラッシュラン 40~0
	再生クラッシュラン 80~0
	砕石(各種)

- (注) 1. 上表は基礎砕石工における材料の投入、敷均し、締固めおよび20m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 砕石の材料使用量のロスを含む。
3. 基礎砕石の敷均し厚は30cmを上限とする。
4. 現場発生材を使用する場合は、「3-5 採取小割」を別途計上する。

(2) 代表機材規格

下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。

表3.3 基礎砕石 代表機材材規格一覧

項目	代表機材材規格	備考
機械	K 1 バックホウ[クローラ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料
	K 2 -	
	K 3 -	
労務	R 1 普通作業員	
	R 2 特殊作業員	
	R 3 土木一般世話役	
	R 4 特殊運転手	
材料	Z 1 再生クラッシュラン RC-40	
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油	
	Z 3 -	
	Z 4 -	
市場単価	S -	

※【従来の積上型の積算基準】 ⇒ 削除

(1) 基礎砕石工 100 m²当り単価表

		施工歩掛コード		WB221110
名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人	0.6×100/D	表 4.1, 表 4.2
特殊作業員		〃	1.1×100/D	〃
普通作業員		〃	2.9×100/D	〃
砕石		m ³	100×厚さ(m)× (1+ロス率)	表 4.3
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	日	1×100/D	表 3.1, 表 4.2
諸雑費		式	1	表 4.4
計				

(注) D: 日当り施工量

【県土木部積算基準より】

4. 「施工パッケージ」代価表等

◆標準単価（東京標準単価）から積算単価（茨城県単価）への補正計算に必要な項目で構成

第 0004 号 代価表 基礎砕石		施工P(機5.77%, 労80.92%, 材13.31%, 市0.00%)				
第 号	名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
	バックホウ [クローラ型] 山積0.8m ³ (平0.6m ³)	5.730	%			K1 Kr, Rr, Zr, Sr
	普通作業員	41.180	%	東京単価 基準年月 (R4.4)	地区単価 [茨城単価] 基準年月 (単価適用日)	R1
	特殊作業員	18.690	%			R2
	土木一般世話役	10.830	%			R3
	特殊運転手	9.660	%			R4
	高炉スラグ クラッシャーラン 40-0	9.200	%			Z1
	軽油 1.2号	4.090	%			Z2
						(標準単価)
				積算単価		
条件名称		入力値		入力名称		条件区分
J 0 1	砕石の厚さ	1		2.5cm以上7.5cm以下		
J 0 2	砕石の種類	4		高炉スラグ CS~40		

◆本工事内訳書の表示【変更】

本 工 事 費 内 訳 書							実施 起工 設計書			
第 号	工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	道路改良									
	擁壁工									
	場所打擁壁工									
	基礎材					200.000	m ²			
	基礎砕石				砕石の厚さ(17.5cm超20.0cm以下), 砕石の種類(クラッシャーラン 30~0)	100.000	m ²	(施工パッケージ)		施工P 第0001号代価表
	基礎砕石(登録代価)					100.000	m ²			第0002号代価表
	コンクリート					100.000	m ³			
	擁壁工コンクリート打設				擁壁種類(重力式もたれ式擁壁等無筋の擁壁), 生コンクリート規格(21-8-25 (20) (高炉)), 養生工の種類(一般養生), 生コンクリートの夜間割増の有無(無), 圧送管組立・撤去の有無(無)	100.000	m ³	(積み上げ型)		
	直接工事費計									

◆機労材集計リスト（材料）に関する留意事項

◆施工パッケージ適用工種の材料は、機労材集計リストは参考扱いで計上

- ・施工パッケージ単価一覧表にて、使用材料を確認の上、材料使用届を提出下さい。
- ・使用数量については、設計図書（図面・数量計算書等）により個別に集計下さい。

（「金抜き」表示例）

【注】施工Pの材料は(参考扱い)					
機 労 材 集 計 リ ス ト (材 料) [施 工 P 分]					
第	号	実施 起工 設計書			
単価コード	名 称 / 規 格	数 量	単 位	金 額	摘 要
Y001102000	再生アスファルト混合物 再生改質As II型 密粒アスコン(20)	148.454	t		20160601
Z002012001	生コンクリート W/C指定無 18-8-25 (20) 高炉	10.142	m ³		20160601

5. 「施工パッケージ」積算単価の算出方法

○標準単価（東京標準単価）から積算単価（茨城県単価）に補正

(1) 補正式（イメージ）

$$\begin{aligned}
 & \text{茨城積算単価} = \text{東京標準単価 (R4.4)} \times \left[K \times \frac{\text{茨城機械単価 (R5.9)}}{\text{東京機械単価 (R4.4)}} + R \times \frac{\text{茨城労務単価 (R5.9)}}{\text{東京労務単価 (R4.4)}} + Z \times \frac{\text{茨城材料単価 (R5.9)}}{\text{東京材料単価 (R4.4)}} \right] \\
 & \text{茨城単価の基準年月(単価適用日)} \\
 & \text{東京単価の基準年月(R4.4)}
 \end{aligned}$$

K: 標準単価に占める機械費の構成割合
 R: 標準単価に占める労務費の構成割合
 Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

【用語の定義】

【国総研資料より】

名称	定義・解説
標準単価 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・東京17区における基準年月の標準的な単価 ・令和5年度の基準年月は令和4年4月
積算単価	<ul style="list-style-type: none"> ・工事地区、発注時期に応じて標準単価を補正して算出する単価 ・補正により算出可能であるため非公表
補正式 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・積算単価算出の際に使用する補正式 (標準単価、機労材構成比、機労材単価を用いて算出)
代表機労材規格 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・標準単価を設定した際に想定した代表的な機械・労務・材料規格 ・機械3機種、労務4職種、材料4規格、市場単価1規格
機労材構成比 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・標準単価毎に設定された代表機労材規格毎の金額構成比率

(2) 標準単価から積算単価への補正式

施工パッケージ型積算方式で用いる、標準単価(P)から積算単価(P')への補正式は以下の通り。

$$\begin{aligned} \ll \text{補正式} \gg \quad P' = P \times & \left\{ \left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right) \times \frac{Kr}{K1r + \dots + K3r} \right. \\ & + \left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right) \times \frac{Rr}{R1r + \dots + R4r} \\ & + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + \dots + Z4r} \\ & \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \right\} \times \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} \end{aligned}$$

機械: 3機種
 労務: 4職種
 材料: 4規格
 市場単価: 1規格

- P': 積算単価(積算地区、積算年月)
- P: 標準単価(東京17区、基準年月)
- Kr: 標準単価における全機械(K1~K3,他)の構成比合計
- K1r~K3r: 標準単価における代表機械規格K1~3の構成比
- K1t~K3t: 代表機械規格K1~3の単価(東京17区、基準年月)
- K1t'~K3t': 代表機械規格K1~3の単価(積算地区、積算年月)
- Rr: 標準単価における全労務(R1~R4,他)の構成比合計
- R1r~R4r: 標準単価における代表労務規格R1~4の構成比
- R1t~R4t: 代表労務規格R1~4の単価(東京17区、基準年月)
- R1t'~R4t': 代表労務規格R1~4の単価(積算地区、積算年月)
- Zr: 標準単価における全材料(Z1~Z4,他)の構成比合計
- Z1r~Z4r: 標準単価における代表材料規格Z1~4の構成比
- Z1t~Z4t: 代表材料規格Z1~4の単価(東京17区、基準年月)
- Z1t'~Z4t': 代表材料規格Z1~4の単価(積算地区、積算年月)
- Sr: 標準単価における市場単価Sの構成比
- St: 市場単価Sの所与条件における単価(東京17区、基準年月)
- St': 市場単価Sの所与条件における単価(積算地区、積算年月)

(K : 機械経費、R : 労務費、Z : 材料費、S : 市場単価、K1~K3,R1~R4,Z1~Z4,S : 代表的な規格
 r : 機労材構成比、t : 東京単価、t' : 地区単価(茨城単価))

(3) 計算例

		r 構成比	t 東京単価	t' 地区単価		
基礎碎石 代表機労材規格・構成比						
		規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)	
K:機械	K	K1	バックホウ(クローラ型)山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	5.730	10,000	10,000
		K2	-	-	-	-
		K3	-	-	-	-
				80.920		
R:労務	R	R1	普通作業員	41.180	19,000	18,000
		R2	特殊作業員	18.690	21,000	19,500
		R3	土木一般世話役	10.830	23,000	22,000
		R4	特殊運転手	9.660	21,000	21,500
			13.310			
Z:材料	Z	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	9.200	2,000	1,800
		Z2	軽油1号, 2号	4.090	110	170
		Z3	-	-	-	-
		Z4	-	-	-	-
			標準単価	790.11		

※ 標準単価、機械・労務・材料単価は仮想単価



$$\begin{aligned} \text{茨城積算単価} = & \text{東京標準単価} \times \left[\left(\frac{K1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right) \times \frac{K}{K1} \right. \\ & + \left[\frac{R1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R3}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R4}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{R}{R1+R2+R3+R4} \\ & \left. + \left[\frac{Z1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{Z2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{Z}{Z1+Z2} \right] \end{aligned}$$

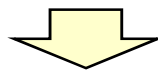
機械単価
 労務単価
 材料単価

基礎砕石 代表機労材規格・構成比

	規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)
K		5.770		
	K1	バックホウ(クローラ型)山積0.8m3(平積0.6m3)	10,000	10,000
	K2	-	-	-
	K3	-	-	-
R		80.920		
	R1	普通作業員	19,000	18,000
	R2	特殊作業員	21,000	19,500
	R3	土木一般世話役	23,000	22,000
	R4	特殊運転手	21,000	21,500
Z		13.310		
	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	2,000	1,800
	Z2	軽油1号, 2号	110	170
	Z3	-	-	-
	Z4	-	-	-

※標準単価, 機械・労務・材料単価は仮想単価

標準単価 790.11



$$\begin{aligned}
 \text{茨城積算単価} &= \\
 & \left(\text{東京標準単価} \right) \times \left\{ \left[\frac{5.73}{100} \times \frac{10,000}{10,000} \right] \times \frac{5.77}{5.73} \right. \\
 & \quad + \left[\frac{41.2}{100} \times \frac{18,000}{19,000} + \frac{18.69}{100} \times \frac{19,500}{21,000} + \frac{10.83}{100} \times \frac{22,000}{23,000} + \frac{9.66}{100} \times \frac{21,500}{21,000} \right] \times \frac{80.92}{41.18+18.69+10.83+9.66} \\
 & \quad \left. + \left[\frac{9.20}{100} \times \frac{1,800}{2,000} + \frac{4.09}{100} \times \frac{170}{110} \right] \times \frac{13.31}{9.20+4.09} \right\} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{機械単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{労務単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{材料単価}
 \end{aligned}$$

(4) 端数処理について (県の場合)

$$\begin{aligned}
 \text{茨城積算単価} &= \\
 & \left(\text{東京標準単価} \right) \times \left\{ \left[\frac{K1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{K}{K1} \right. \\
 & \quad + \left[\frac{R1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R3}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{R4}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{R}{R1+R2+R3+R4} \\
 & \quad \left. + \left[\frac{Z1}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} + \frac{Z2}{100} \times \frac{\text{茨城単価}}{\text{東京単価}} \right] \times \frac{Z}{Z1+Z2} \right\} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{機械単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{労務単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{材料単価}
 \end{aligned}$$

二重線囲み部分 → 小数5位止め (小数6位四捨五入)

積算単価 → 有効桁数4桁止め (5桁目以降切り上げ)、小数点以下切捨て

例 積算単価 (端数処理前) : 275.43251
 ①有効数字4桁、5桁目以降切り上げ : 275.5
 ②小数点以下切捨て : 275

6. 「施工パッケージ」標準単価等の掲載場所

(1) 標準単価等の掲載場所

茨城積算単価

$$= \boxed{\text{東京標準単価}} \times \left[\boxed{K} \times \frac{\text{茨城機械単価}}{\text{東京機械単価}} + \boxed{R} \times \frac{\text{茨城労務単価}}{\text{東京労務単価}} + \boxed{Z} \times \frac{\text{茨城材料単価}}{\text{東京材料単価}} \right]$$

K: 標準単価に占める機械費の構成割合
 R: 標準単価に占める労務費の構成割合
 Z: 標準単価に占める材料費の構成割合

基礎砕石 代表機労材規格・構成比

規格		構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)
K	K1	バックホウ(クローラ型)山積0.8m3(平積0.6m3)	5.770	10.000
	K2	—	—	—
	K3	—	—	—
			80.920	
R	R1	普通作業員	41.180	19.000
	R2	特殊作業員	18.690	21.000
	R3	土木一般世話役	10.830	23.000
	R4	特殊運転手	9.660	21.000
Z	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	13.310	
	Z2	軽油1号, 2号	9.200	2.000
	Z3	—	4.090	110
		—	—	170

※機械単価、労務単価、材料価格は仮想単価

◆施工パッケージ型積算方式標準単価表

国交省国土技術政策総合研究所HP

(http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)

『施工パッケージ型積算方式標準単価表』を適用

(記載例)

施工パッケージごとに、標準単価、機労材構成比、代表機労材規格を公表。

【下層路盤(車道・路肩部)の一例】 【国総研資料より】

条件区分	材料	標準単価	機労材構成比												S
			K			R				Z					
平均厚さ			K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4		
75mm超125mm以下	フラットナー、C-40	566.81	9.59	3.52	2.73	2.55	18.42	9.62	7.28	-	-	71.99	69.49	2.30	-
125mm超175mm以下		763.66	7.10	2.61	2.02	1.89	13.66	7.14	5.40	-	-	79.24	77.38	1.71	-

代表機労材規格

K (※印: 資材)			R				Z				S
K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S
モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] プレード幅3.1m	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t	特殊運転手	普通作業員			クラッシャーラン 10	軽油 1, 2号	バトロール給油		

機労材構成比K1~K3, R1~R4, Z1~Z4の合計が、K, R, Zと一致しない場合もあるが、標準単価には代表材料規格に示していない費用も含んでいる。

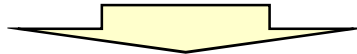
- ◆【条件区分】施工パッケージ型積算基準に定められた積算条件区分
- ◆【標準単価】東京地区(東京17区)における基準年月(R4.4)の施工単位当たりの単価(円)
- ◆【機労材構成比】機械経費(K)、労務費(R)、材料費(Z)、市場単価(S)の金額構成比率
 - ※K, R, Zは機械経費、労務費、材料費それぞれの合計金額構成比率
 - ※K1~K3, R1~R4, Z1~Z4, Sは各代表的な規格の金額構成比率
- ◆【代表機労材規格】代表的な規格の金額構成比率を示した機械経費、労務費、材料費、市場単価の具体的な規格名称

18

(2) 代表機劣材規格の基準単価（東京単価【基準日 R4.4】）

基礎砕石 代表機劣材規格・構成比					
	規格	構成比 (%)	東京単価 (円)	茨城単価 (円)	
K	K1	バックホウ(クローラ型)山積0.8m3(平積0.6m3)	5.770	10,000	10,000
	K2	—	—	—	—
	K3	—	—	—	—
R			80.920		
	R1	普通作業員	41.180	19,000	18,000
	R2	特殊作業員	18.690	21,000	19,500
	R3	土木一般世話役	10.830	23,000	22,000
	R4	特殊運転手	9.660	21,000	21,500
Z			13.310		
	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	9.200	2,000	1,800
	Z2	軽油1号, 2号	4.090	110	170
	Z3	—	—	—	—

※機械単価、労務単価、材料価格は仮想単価



①材料・機械の基準単価（東京単価【基準日 R4.4】）

- ◆国総研『代表材料規格等の基準単価作成方法について』を適用
国交省国土技術政策総合研究所HP
(http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)

(掲載内容抜粋)

- 基準材料単価は、「建設物価」「積算資料」等（令和4年4月号または春号）の東京地区単価の平均値
※一方の物価資料にしか掲載のないものについては、その単価を採用
※両方の物価資料に掲載のないものについては、関東地方整備局の特別調査結果等を採用（上記国総研資料に掲載）
※ロットに応じた単価が設定されている場合には、原則としてロットが最大の単価を使用

- 賃料は、長期割引後の単価を使用

★上記単価は以下に掲載されている。

- （一財）建設物価調査会 HP <https://www.kensetu-bukka.or.jp/trendtopics/sekopa/>
『R5.04 適用（建設物価・令和4年4月号）』
- （一財）経済調査会 HP https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/construction_package/
『2023.03.31 代表機劣材規格一覧 R05.4 月適用分』

★平均値の有効桁 → 有効桁の大きい方の桁を採用（有効桁3桁未満のときは3桁）

- (例1) 単価の有効桁数の大きい方を有効桁とする場合
建設物価 33,500 円（有効桁3桁） 積算資料 34,000 円（有効桁2桁）
平均額 33,750 円 → 決定額 33,700 円（有効桁3桁、4桁以降切り捨て）
- (例2) 単価の有効桁数が3桁未満のために3桁を有効桁とする場合
建設物価 560 円（有効桁2桁） 積算資料 570 円（有効桁2桁）
平均額 565 円 → 決定額 565 円（有効桁3桁、4桁以降切り捨て）
- ※上記により算出した決定額に標準数量（舗装厚等）を乗じる場合は、小数点以下を切り捨てした値を用いることとする。

- 機械損料は、「令和4年度建設機械等損料算定表（国土交通省）」の供用日当たり換算値損料（15欄）を使用

- ※令和4年度 建設機械等損料算定表（国土交通省）と同じ内容の出版物として、以下がありますので、こちらを参考としても結構です。
• 日本建設機械施工協会発行「令和4年度版 建設機械等損料表」
• 茨城県土木部発行「請負工事機械経費積算基準」（令和4年8月）

②労務の基準単価（東京単価【基準日 R4.4】）

- ◆国交省「令和4年3月から適用する公共工事設計労務単価」の東京都単価を採用
国交省HP「令和4年3月から適用する公共工事設計労務単価について」
https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00077.html

(3) 機労材の基準単価（茨城県単価【適用日】）

従前のおり（「土木工事等建設資材単価表」及び「公共工事設計労務単価表」）

【各種情報の掲載箇所（まとめ）】

(1) 国総研（国土交通省国土技術政策総合研究所）HP

https://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm

- 施工パッケージ型積算方式標準単価表
- 代表材料規格の基準単価作成方法について
- 施工パッケージ型積算方式について

(2) 国土交通省技術調査課 HP

<https://www.mlit.go.jp/tec/koujisekisan.html>

- 施工パッケージ型積算

(3) (一財) 建設物価調査会 HP

<https://www.kensetu-bukka.or.jp/trendtopics/sekopa/>

- 補正に用いる基準材料ベース単価（機械賃料、労務、材料、市場単価…東京単価）

(4) (一財) 経済調査会 HP

https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/construction_package/

- 代表機労材規格一覧R 5.4 月適用分

【県検査指導課 HP】

<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/kensa/kanri/sekop/sekop.html>

